



工事事故対策通信

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5~6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年8月現在
	件数	2件	8件	0件	10件	

- Vol. 51 飛び石対策を徹底しよう!!
- Vol. 50 架空線を切断する事故が頻発
- Vol. 49 飛び石対策を徹底しよう!!
- Vol. 48 工事関係者の負傷事故が発生
- Vol. 47 水道管を破損する事故が発生
- Vol. 46 通信線を切断する事故が発生
- Vol. 45 水道管を破損する事故が発生
- Vol. 44 工事関係者の負傷事故が発生
- Vol. 43 飛石が通行車を直撃
- Vol. 42 架空線を切断する事故が発生





工事事故対策通信

～飛び石対策を徹底しよう!!～

Vol. 51
令和6年8月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5、6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年8月現在
	件数	1件	4件	0件	5件	

道路通行に支障となっている路肩の草を片側交互通行の規制内で、肩掛け式草刈り機で防護ネットにより保護しながら刈っていたところ、ネットの脇から飛び出した石が車のサイドガラスに当たり破損した



【事故の原因】

- ①事前調査による飛散の恐れがある障害物の確認に不備があった
- ②飛び石対策として使用した防護ネットの配置及び移動方法に問題があった
- ③道路の除草作業に適した機材を使用すべきであった

【事故の対策】

- ①除草着手前の現場調査は、複数人で確認し、あらかじめ飛散しそうな石等の障害物をできるだけ除去する
- ②防護板はL型やコの字型の物を使用するなど、飛び石飛散防止効果を上げるよう努めるとともに、一度に刈る延長を短くすることや、刃先の動きを確認しながら防護ネットを適切に移動し、刃から防護ネットまでの距離を「30cm以内」に保つようにする
- ③交通量の多い道路での作業時においては、車両が通過するまで作業を一時中断することや、飛び石防止効果のあるバリカン式のアタッチメントを使用する



図1 上下で逆回転する飛び石対策アタッチメント

【袋井土木から】

交通量の多い道路での除草作業

- ・草刈機の動きに合わせて防護ネットを移動し、隙間が開かないようにすること
- ・飛び石防止効果のあるバリカン式のアタッチメントを使用すること



問合せ先
袋井土木事務所 維持管理課
TEL : 0538-42-3217
Mail : fukudo-kanri@pref.shizuoka.lg.jp



工事事故対策通信

～架空線を切断する事故が頻発しています～

Vol. 50

令和6年8月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年8月現在
	件数	1件	3件	0件	4件	

【事故概要】

資材置き場でのコンクリートポンプ車の清掃作業完了後、帰社しようとコンクリートポンプ車を前進させた際、ブームを伸ばしたままであることに気づかず、架空線を切断した



架空線を切断

【事故の原因】

- ・ 施工計画書（工事事故ハザードマップ）に資材置き場での安全対策の記載がなく、資材置き場での安全対策をしていなかった
- ・ 新規入場者教育において、資材置き場での安全対策についての教育を実施していなかった
- ・ ブームの格納確認を行わず、発進してしまった



再発防止策

【事故の対策】

- ・ 施工計画書（工事事故ハザードマップ）に資材置き場での安全対策を記載し、作業員に周知
- ・ 資材置き場においても、架空線手前に注意表示、架空線には保護カバーかリボンを設置
- ・ 新規入場者教育において、資材置き場での安全対策について教育し、作業員に周知
- ・ ブーム格納時の確認を書面に記載、運転手以外の方が格納確認
- ・ 監視員の確認のもとで出発

【袋井土木から】

資材置場での作業

- ・ 工事事故ハザードマップを作成し、架空線に保護カバー等を設置すること
- ・ 作業員に安全対策について教育し、監視員確認のもとで作業すること



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-
kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

袋井土木事務所





工事事故対策通信

～飛び石対策を徹底しよう!!～

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年7月現在
	件数	1件	2件	0件	3件	

道路通行の支障となる草を、肩掛け式草刈り機で防護ネットで保護しながら刈っていたところ、ネットの脇から飛び出した石が車のサイドガラスに接触し、損傷を与えた



【事故の原因】

- ①道路の除草作業に適した機材を使用しなかった
- ②事前調査による飛散の恐れがある障害物の確認に不備があった
- ③飛び石対策として使用した防護柵の配置及び移動方法に問題があった

【事故の対策】

- ①交通量の多い道路での作業時においては、車両が通過するまで作業を一時中断することや、飛び石防止効果のあるバリカン式のアタッチメントを使用する
- ②除草着手前の現場調査は、複数人で確認し、あらかじめ飛散しそうな石等の障害物をできるだけ除去する
- ③現場の状況(通行量、除草の幅、道路幅員)に配慮して、現状の防護柵(1400×900)より広範囲を防護できる防護(2700×1800-アルミ製フレームポリエチレンネット)を採用し、さらに刃先の動きに合わせて防護柵を前後移動する

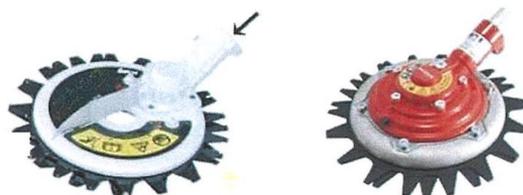


図1. 上下で逆回転する飛び石対策アタッチメント



【袋井土木から】

交通量の多い道路での除草作業

- ・広範囲を防護できる防護ネットを使用すること
- ・飛び石防止効果のあるバリカン式のアタッチメントを使用すること



問合せ先
袋井土木事務所 維持管理課
TEL : 0538-42-3217
Mail : fukudo-kanri@pref.shizuoka.lg.jp





工事事故対策通信

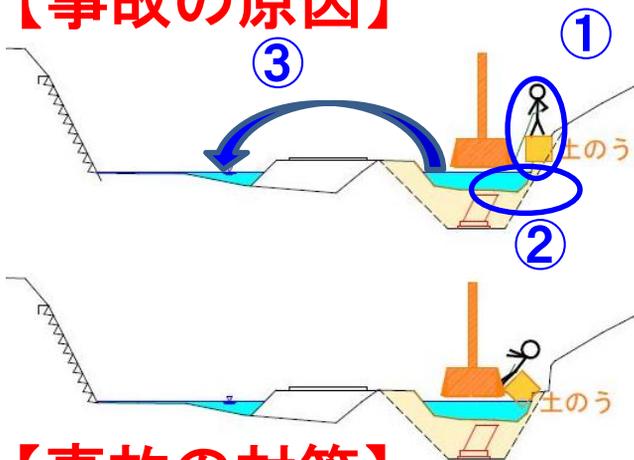
～工事関係者の負傷事故が発生しました～

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年5月現在
	件数	1件	1件	0件	2件	

埋没した水中ポンプを探るため掘削していたところ、大型土のうが崩れた。大型土のうの上で作業していた作業員が、近くにあったバックホウのバケットと崩れた土のうとの間に両足を挟まれ負傷した



【事故の原因】



- ① 作業手順に従わず転倒又は滑動する恐れがある大型土のうの上に乗っていた
- ② 土のうを不安定にする作業をした
- ③ 水中ポンプが埋まって濁水を排除できず、大型土のうの安定を確認しなかった

【事故の対策】

当初計画した作業手順と異なる状況になったら作業を中止する

危険箇所を確認して安全確保を第一とし作業手順を見直す
作業員に作業計画を周知して作業を再開する

- ① 掘削しているところの大型土のうの上に乗らない
- ② 不安定になる大型土のうを先に撤去する
- ③ 別ポンプで濁水の排除を行い、大型土のうの安定を確認する





工事事故対策通信

～水道管を破損する事故が発生しました～

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和6年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年4月現在
	件数	0件	1件	0件	1件	

土質調査の試料採取のため、床掘していたところ、水道管がバックホウのバケットと接触し破損した（水道管破損により住宅1戸が断水被害を受けた）



破損箇所

【事故の原因】

地下水位が約1.2mの深さにあり、目視による確認が困難であったが、玉石が多かったため、目視での確認ができないままバックホウで掘削を続けてしまった

【事故の対策】

- ① 地下水位確認時は水中ポンプ等を用いて周辺が目視できるまで水位低下に努める
- ② 掘削中は縦方向と横方向からの2名による監視を実施する
- ③ 1.2m以深にも引込管がある意識を持ち、最終深度まで気を抜かない

2方向からの目視



地下水位確認時は、水中ポンプを用いる等、目視で確認しながら掘削を行い、事故を未然に防ぎましょう！





工事事故対策通信

～通信線を切断する事故が発生しました～

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故 合計	令和6年3月現在
	件数	1件	4件	0件	5件	

堤防伐竹作業中のバックホウを移動する際にアームを上げたまま走行し、上空の通信線に気づかず接触し切断した
(通信線切断により企業1件がネットワーク障害の被害を受けた)

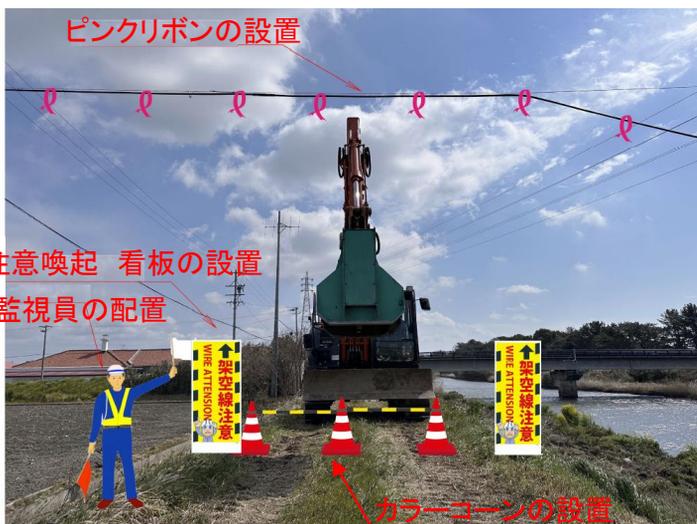
【事故の原因】

- 施工計画書に架空線の存在は記載されていたものの、現場に架空線の明示がなかった
- 伐採作業時、架空線付近に監視員を配置していなかった



【事故の対策】

- 看板やカラーコーンを設置し、架空線にはリボンをつけて、現場に架空線の位置を明示する
- 架空線付近で作業する場合は、監視員を設ける



架空線周辺の作業時には、架空線を明示監視員を配置し、事故を未然に防ぎましょう！



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp





工事事故対策通信

～水道管を破損する事故が発生しました～

Vol. 45

令和6年1月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和6年1月現在
	件数	1件	3件	0件	4件	

護岸設置のため、堤防の川裏側に腹付け盛土を行うため、法面を段切りしていたところ、水道管がバックホウのバケットと接触し破損した（水道管破損により住宅1件が断水被害を受けた）



【事故の原因】

設計図に水道管の推定位置が堤防舗装範囲の直下にあると記載されていたため、法面の段切り掘削作業には影響がないと判断し、埋設物管理者の確認は必要ないと考えていたこと

【事故の対策】

- ①埋設物管理者との立会を実施する
- ②水道管の埋設位置が不明瞭なため、人力掘削にて試掘を行い、埋設位置を確認しながら掘削を行う
- ③『埋設物注意』ののぼり旗などを設置し、埋設物の存在を周知徹底する

埋設管周辺の作業を行う際は、埋設物管理者との立会を適切に行い、事故を未然に防ぎましょう！



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-
kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp



工事事故対策通信

～工事関係者の負傷事故が発生しました～

Vol. 44

令和5年12月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故合計	令和5年12月現在
	件数	1件	2件	0件	3件	

【事故概要】

現場事務所に燃料を取りに行った際、運転手が4 t ダンプトラックから降車後、トラックが後退し、自力で止めようとした運転手がトラックの下に入り込み、負傷

事故状況再現①

運転手
トラックの後方に回り、
自力で止めようとした



トラック
道路を後退

事故状況再現③



ガードレールにトラックが衝突して停止

事故状況再現②

運転手がトラックの
下に入り込み、負傷



被災者

【事故の原因】

- ①車両が完全に停止していることを確認せずに降車した
- ②輪止めを設置していなかった
- ③現場事務所に駐車スペースを確保していなかった
- ④勾配のあるところに駐車した

【事故の対策】

- ①駐車時の注意事項をまとめたチェックリストを車内に常備
- ②輪止めを常備し、駐車時に輪止めを確実に設置
- ③作業内容に応じて事前に駐車位置を決定・確保し、決められた箇所に駐車するよう周知徹底
- ④駐車を禁止するエリアをハザードマップに明示



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-
kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp



工事事故対策通信

～飛石が通行車を直撃する事故が発生しました～ 令和5年9月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故 合計	令和5年9月現在
	件数	0件	2件	0件	2件	

【事故概要】

道路用地の除草作業中、飛散防護措置を兼務していた現場代理人が写真撮影のため一時的に防護ネットを外した際に飛石が発生し、通行中の一般車両を直撃した



【事故の原因】

- ①作業員を含めた現場確認が不十分なまま作業を行った
- ②飛散防止ネットの補助が無くなる間、作業を中断する指示を行っていなかった
- ③KYミーティングで飛石事故の注意喚起を行っていたが、徹底しきれていなかった

【事故の対策】

- ①作業前の現場確認により危険箇所を把握・共有、作業手順・必要人員を決定・確保した後に現場着手
草刈り機による作業前に、飛散の恐れがある異物の除去作業を確実に実施
- ②飛石による第三者事故の恐れがある箇所の除草には、除草作業員1名につき飛散防止ネットを持つ補助員1名を付けた人員の配置が出来ない限り作業を行わない
- ③事故再発防止会議を開催し、作業員を含め全社員の再教育を行うとともに、KYミーティングで、補助員が配置できない場合は作業しないことを周知徹底



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL : 0538-42-3216
Mail : fukudo-
kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp





工事事故対策通信

～架空線を切断する事故が発生しました～

Vol. 42

令和5年7月発行

袋井土木発注工事 事故発生件数 令和5年度	事故項目	工事関係者負傷者	第三者(物損)	第三者(負傷)	工事事故 合計	令和5年7月現在
	件数	0件	1件	0件	1件	

【事故概要】

バックホウ（0.45m³）の移動中、ブームが架空線に接触して弛んだ状態になり、市道を走行していた運送会社トラックが架空線に接触して切断に至った

事故状況再現



【事故の原因】

- 事前に架空線の管理者やクリアランスを確認していなかった
- 当日の作業員は新規入場者であり、当該箇所の危険性について周知されていなかった（ハザードマップには記載あり）
- 朝礼時に確認した作業方法と異なる方法で作業を行った（バックホウが架空線下を移動することを想定していなかった）

【事故の対策】

- ハザードマップ作成に合わせて架空線の管理者やクリアランスを確認し、関係機関と協議・立会を行う
- 新規入場者教育や毎朝の朝礼時にハザードマップ等を活用して危険箇所を共有する
- 作業を変更する必要がある場合は、現場代理人に逐次連絡し、確認をとった上で作業を行うことを周知徹底する



問合せ先
袋井土木事務所 企画検査課
TEL：0538-42-3216
Mail：fukudo-
kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

